

## 高経大、卒業生訪問の学生に

# 交通・宿泊費10万助成

高崎経済大(水口剛学長)は新年度、キャリア形成に生かしてもらうことなどを目的に国内研修プログラム事業「先輩に会いに行こう

」を始める。全国に散らばる卒業生を訪問する1、2年生に対し、往復の交通費と宿泊費を1人最大10万円助成する。経済的な負担

を軽減することで学生の参加意欲を促し、自ら訪問を企画・申請することで主体的に行動する力を育むことも狙っている。

同大によると、卒業生訪問にかかる宿泊費を含む費用を負担するケースは全国的にも少ないという。同大は県外学生が約7割を占め、2022年度は全都道府県出身の学生が在籍した。卒業後、地元に戻って活躍する人も少なくない。地域性も豊かで職種も幅広い卒業生を学生の成長に生かそうと事業を考案し

た。訪問を受け入れる意思を示している卒業生名簿(学内向け。約1850人掲載)に基づき、学生が直接交渉して訪問日時などを決めて事前申請し、事後精算する。1、2年生の約1割に相当する200人の活用を想定している。

全国30カ所の同窓会支部が独自に企画する同窓生の職場紹介や企業訪問ツアーに対する助成も事業に盛り込み、会場使用料など1支部最大50万円を助成する。学生は支部の企画参加の際も卒業生訪問時と同様に助成を受けることができる。大学設置者の高崎市が新年度一般会計予算案に運営費交付金6億1千万円を計上。このうち、2500万円(学生分2千万円、同窓会支部分500万円)を大学が事業に充てる。同大は「自分に合ったキャリアを探索してほしい。いろいろな職業や地域に触れ、視野を広げ、自分を発見してくれたら」と成果を期待した。(米原守)